

# 「創業70周年感謝の集い」開催

## 100周年向け結束図る

技工団

【山口】(株)技工団(山口市緑町、作間悦次社長)の「創業70周年感謝の集い」が4月27日、山口市湯田温泉のホテルニュータナカで開催され、取引先、協力会社、社員ら230人余が出席。100周年に向かって「技術や経験を次の世代に引き継ぎ、自律できる企業を目指すとともに、地域社会に信頼される建

設企業づくりを目標にさらなる発展を誓い合った。開会に先立ち、作間社長が、これまでの社歴などを語りながら「鉄道建設から発して70周年を迎えた。次なるステージ(100周年)へ向けての重要な通過点でもある。全社一丸となって新たな一歩を踏み出し、立ち止まることなく前進していく。70周年を機会に会社の理念書「CSR」を作成した。これを基に、社員全員のベクトル合わせが進み、ボトムアップ風土に変革して、自律できる企業を目指すとともに、お互いに技術を磨き、技術を競い合っ

て、お客様や地域社会に愛される企業になるべく頑張っていく」とあいさつした。

その後、出席者を代表して「技工団労働災害防止協力会」の横山省吾会長(サントリー宇部社

長が、100周年に向かって、社員、協力会とも使命や役割など果たして一層の発展を祈念する祝辞を披露し、横山会長の乾杯の音頭で祝宴、社員のおやじバンドのエキシザウンドを聴いたり、抽選会を楽しみながら昔話に花を咲かせていた。

同社は、創業者の作間正朝氏が昭和21年5月、満鉄引揚者の「技」と「工」が団結し、荒廃した国土の再建にあたったのが始まり(合作社技工団の誕生)。その後、本来の鉄道建設技術をベースに当時の国鉄広島鉄道管理局の指定業者となったことから、同23年3月に(株)新日本技工団に改組。27年5月に現在の社名に変更した。この間、作間正朝氏から末永正邦氏(現相談役)、作間悦次氏へと引き継がれ、現在は一般土木、一般建築、鉱山土木、地盤改良などを手がける県内でも有数の総合建設業として地歩を固めた。



作間社長(右)と末永相談役



祝辞を述べる横山協力会会長

を競い合っ

て、お客様や地域社会に愛される企業になるべく頑張っていく」とあいさつした。その後、出席者を代表して「技工団労働災害防止協力会」の横山省吾会長(サントリー宇部社